



11月4日提出
申7号

2022年度冬期の取り組みに関する申し入れ提出!

2022年度冬期の取り組みについて新潟支社より説明を受けました。昨冬期で得られた教訓・課題を克服し今冬期に活かすことが目指されている一方で、現場第一線の社員からは昨冬期の経験から不安の声が寄せられています。東日本ユニオン新潟地本は、今冬期において安全安定輸送を確保し、質の高いサービスの提供を行うことを大前提としつつ、社員が安心して働くことができる冬期体制を目指し、申7号として申し入れました。

■ 申7号 申し入れ項目 ■

1. 駅前広場(ロータリー)の除雪は必要により自治体に協力要請し、除雪車による除雪を行うこと。
2. 昨冬期の乗務員によるポイント不転対応の実績と今冬の課題を明らかにすること。
3. 乗務員によるポイント不転対応駅 24 駅を明らかにするとともに、対応駅を増やした理由を明らかにすること。
4. 昨冬期のお客さまの声を踏まえ、今冬期の暖房予熱の考え方を明らかにすること。
5. 車内温度保持のため今冬期は全てのドアを半自動扱いとすること。
6. 通勤経路として申請している公共交通機関が運休の場合は通勤災害を適用すること。
7. 通勤困難者に宿泊施設を提供すること。
8. GV-E400 系エアクリーナーへの雪詰まり防止対策について明らかにすること。
9. 冬期の異常時において、GV-E400 系の燃料管理を徹底すること。
10. 駅間で発生する吹き溜まり箇所の幅広い除雪・線間融雪・風対策を講じること。
11. 越後線柏崎～吉田間において、架線凍結対策を明らかにすること。
12. 今冬期前までに沿線近接木を伐採し倒木対策を行うこと。
13. 酒田駅構内(運輸区構内含む)における検修社員の制輪子凍結時の対応について明らかにすること。
14. パターン除雪における保守用車使用手続きが変更になる線区において、社員及びパートナー会社への教育・訓練を確実にすること。
15. 除雪作業において作業係員と輸送指令との連絡手段の改善を図ること。
16. 上越線におけるホーム端の側雪や信号機の視認性は誰がどのように把握するのか明らかにすること。
17. 一斉除雪の計画はパートナー会社と連携し、計画的に実施すること。
18. 雪による起動不能防止のため、越後川口駅上り1番線の除雪を今年度も行うこと。
19. 駅のホーム除雪を徹底すること。

安心して働ける労働環境を 労働組合の力で創り出そう!